

(教育費) 教育・文化・スポーツの振興に要する経費

9億3,069万円 → 8億8,416万円 **4,653万円減**

就学への支援はこうなる

例えば...	削減額	影 響
奨学金の貸付枠	79万8千円	大学奨学金の貸付枠が入学金12人分 1人減 修学金21人分 1人減となります。

文化活動の振興はこうなる

例えば...	削減額	影 響
講師謝礼や活動費	14万1千円	公民館講座やマイプラン講座の講師謝礼費6,000円 5,400円に。6回講座で3,600円の活動費減。
図書購入費	38万円	図書購入費200冊分減 年間4,000冊から3,800冊に。
AV資料購入費	9万9千円	AV資料(ビデオ等)購入費、20本分減。年間400本 380本に。

体育施設の維持はこうなる

例えば...	削減額	影 響
削減分を使用料でまかなうと	636万1千円	減額分を使用料でまかなった場合、各種使用料は倍額になります。例えば、運動広場1日全面3,090円 6,180円、テニスコート1時間100円 200円、総合体育館大人100円 200円、プール大人300円 600円などとなります。

(職員費) 職員の人件費に要する経費

18億957万円 → 15億3,813万円 **2億7,144万円減**

職員の給与はこうなる

例えば...	削減額	影 響
職員定数	2億5,333万7千円	職員の人件費15%ダウンを目標とすると、職員数に換算すると190人(病院、特老、水道などの職員除く)から30人減の160人に。